

平成２６年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ベリーズ海島綿産業機材整備計画」引渡し式

２０１６年２月１５日、小山参事官は、オレンジ・ウォーク県のベリーズ ICA 協会事務所で行われた、平成２６年度対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ベリーズ海島綿産業機材整備計画」の引渡し式に出席し、ベリーズ ICA 協会（井上堅介会長）にトラクター２台と種蒔機を寄贈しました。

日本人が代表を務めるベリーズ ICA 協会は２００３年に設立され、１０年以上に渡り海島綿産業に携わってきました。世界最高品質の海島綿を生産しており、日本企業からの需要があるにもかかわらず、農業機材などが足りずに生産量の拡大ができずにいました。本件プロジェクトによるトラクターの支援は、海島綿栽培の拡大に役立つものであり、今後のベリーズ農業の発展にとって重要な役割を期待されています。

当日の引渡し式へは、モンティ・サダランガニ在ベリーズ日本国名誉総領事、ロベルト・ハリソン農業省チーフオフィサー、農業省職員、植物保護・検査機関関係者、ベリーズ ICA 協会係者など約３０名が出席しました。ハリソン農業省チーフオフィサーをはじめとする来賓、関係者たちは、日本の支援への感謝と受け取ったトラクターを大切に使い、これからもより高品質な綿を生産していきたいと述べました。小山参事官はベリーズの主産業である農業支援を通じた同国の発展を願うとともに、２０１４年の安倍総理が第一回日・カリコム首脳会合にて発表した日本とカリコム諸国の協力を強化するという日本政府の意向に言及し、本件支援もその一環であることについて述べました。



小山参事官より鍵を受け取る井上代表



海島綿農家を交えての供与機材視察